

第29回高岡市民美術展

会期／令和5年6月24日(土)ー7月8日(土)

高岡市で創作活動を行う人たちを対象とした公募展。絵画I(日本画)、絵画II(洋画)、彫刻、工芸、書、写真の6部門の入選・入賞作品、および招待作品をあわせて約400点展示します。

[観覧無料]

第52回高岡市芸術祭

高岡市美術作家連盟展

会期／令和5年11月10日(金)ー11月19日(日)

高岡市を中心に活動する美術作家の団体展。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門にわたり、会員作品を展示します。

[観覧無料]

第10回クリエイティブ・たかおか ～未来に輝く 高岡市児童生徒作品展～

会期／令和5年12月16日(土)ー令和6年1月14日(日)

市立学校の児童・生徒が制作した作品を展示します。子供たちのよさを引き出し、高岡の魅力を発信する展覧会です。また、美術作品を楽しく鑑賞できる展示も行います。

[観覧無料]

富山大学芸術文化学部 大学院芸術文化学研究科 卒業・修了研究制作展ーGEIBUN15(仮称)

会期／令和6年2月ー3月(予定)

[観覧無料]

※名称、内容等は多少変更になることがあります。

※2Fピコレーガラリー(コレクション展)は現在休室中です。
高岡市美術館2F「高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」の展示については、同ギャラリー(TEL0766-20-1170)へお問い合わせ下さい。



高岡市美術館 HP

ご来館の前に開館状況や新型コロナウイルス予防対策などの
ご確認をお願いいたします。

高岡市美術館 友の会会員募集中

お問い合わせ：0766-20-1177 <https://www.e-tam.info/tomo/>

開館時間 休館日

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
毎週月曜日(月曜日が祝・休日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日から1月3日)

観覧料

※5月1日(月)および8月14日(月)は臨時開館します。
展覧会によって異なります。

[観覧料の減免](当日券に限る)

■小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の
児童・生徒は、土曜・日曜・祝・休日に限り企画展
観覧料20%割引

■65歳以上の一般個人の方は、企画展観覧料20%割引

■身体障がい者、精神障がい者保健福祉・療育など
の各種手帳をお持ちの方および付き添いの方(1名)
は企画展観覧料が半額

交通の ご案内

北陸新幹線新高岡駅より

●タクシー約10分

高岡駅より

●徒歩約20分(北東約2km)

●JR氷見線「越中中川駅」下車、徒歩2分

●富山地铁バス・富山駅前「中川」下車、徒歩2分

●万葉線「広小路」電停下車、徒歩10分

自動車で

●能越自動車道 高岡北ICから約15分、高岡ICから約20分

●北陸自動車道 小杉ICから約20分、
高岡砺波スマートICから約20分

※高岡市美術館地下駐車場(9:00～18:00)は、2時間
まで駐車料金無料

※高岡文化の森駐車場(屋外)は駐車料金無料



〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号

TEL 0766-20-1177 FAX 0766-20-1178

URL <https://www.e-tam.info/>



PROGRAM OF EXHIBITIONS
展覧会のごあんない
2023・4ー2024・3



TAKAOKA ART MUSEUM

ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡

会期／令和5年3月18日(土)ー5月7日(日)



ウィリアム・モリス《いちご泥棒》
1883年、Photo ©Brain Trust Inc.

モダン・デザインの父と称され、現在もおその優美なデザインで人々を魅了するウィリアム・モリス(1834-1896)。産業革命後の英国で芸術と日常生活の統合を提唱し、世界各国に波及する「アーツ・アンド・クラフツ運動」を先導しました。本展では、モリスと仲間たちによる壁紙や染織品、書籍や椅子など約80点に、写真家・織作峰子氏による英国の風景写真を組み合わせ、モリスの生涯とデザイン考案の軌跡をたどります。

第62回日本伝統工芸富山展

会期／令和5年5月26日(金)ー6月11日(日)

[高校生以下観覧無料]

コレクションにみる 高岡の金工・漆芸

会期／令和5年5月26日(金)ー6月11日(日)

[観覧無料]

カレンダー 2023(令和5年)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●企画展示室	3/18 ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡	5/7	5/26 6/11 第62回日本伝統工芸富山展		7/22	9/3 魔法の美術館 アート・イン・ワンダーランド ～見て触れて光と遊ぶ13の部屋～		11/10 11/19 第52回高岡市芸術祭 高岡市美術作家連盟展				
			5/26 6/11 コレクションにみる 高岡の金工・漆芸	6/24 7/8 第29回高岡市民美術展		9/16 10/22 ヘテロジニアスな世界 光瑠 × 牛人		12/16 1/14 第10回クリエイティブ・たかおか ～未来に輝く 高岡市児童生徒作品展～				

●市民ギャラリー 貸展示スペースです。個展やグループ展等の開催にご利用いただけます。令和6年度のご利用については、令和5年12月28日(木)までにお申し込みください。

魔法の美術館 アート・イン・ワンダーランド ～見て触れて光と遊ぶ13の部屋～

会期／令和5年7月22日(土)ー9月3日(日)

現代ではコンピューターが一般に浸透して、アートシーンにおいてもコンピューターによる表現が飛躍的な広がりをみせています。本展は、そうしたコンピューターによるデジタルの要素を融合させたアートを展示するものです。来場者の動きに反応し、実際の体感で魔法を体験するように楽しんでいただく参加型の作品13点を高岡オリジナルの展示構成でお楽しみいただきます。

手をかざしたり、小さく語りかけたりと、参加者のささやかな動きだけで、視覚に訴える華やかで直感的な作品が生まれ、老若を問わず鑑賞者みずからが作品の一部になることができます。夏休みの子供たちはもちろん、インスタ映えを求める友人同士、あるいはコロナ禍で外出を控えてこられたご年配の皆様にも体験してほしい展覧会です。



スイッチ《なげる、あてる、ひろがる》
©Switch
協力:名古屋造形大学 情報表現領域



藤本直明《Immersive Shadow: Bubbles》
©naoaki FUJIMOTO

ヘテロジニアスな世界 光瑠 × 牛人

会期／令和5年9月16日(土)ー10月22日(日)

美術館というひとつの展示空間にそれぞれの個性を放つアーティストの作品群が対峙したとき、まるで化学反応を起こすように、新たな気づきに眼前がひらかれる。一見異質な作品群が有機的に織りなすハーモニーにより誘われる、これまでに味わったことがない世界、これを「ヘテロジニアス(Heterogeneous)な世界」と呼ぶ。

本展では、鮮烈な色彩と生命力を表出させた花鳥画に個性を発揮した、旧福光町生まれの石崎光瑠(1884-1947)と、「渴筆」という技法で大胆さと繊細さをあわせもつ独自の水墨画の世界を開拓した、富山市生まれの篁牛人(1901-1984)の作品を対峙させ、新たな美の発見を試みます。



石崎光瑠《燦雨》(部分) 1919年 南砺市立福光美術館蔵



篁牛人《蛟龍》(部分) 1967年 富山市篁牛人記念美術館蔵